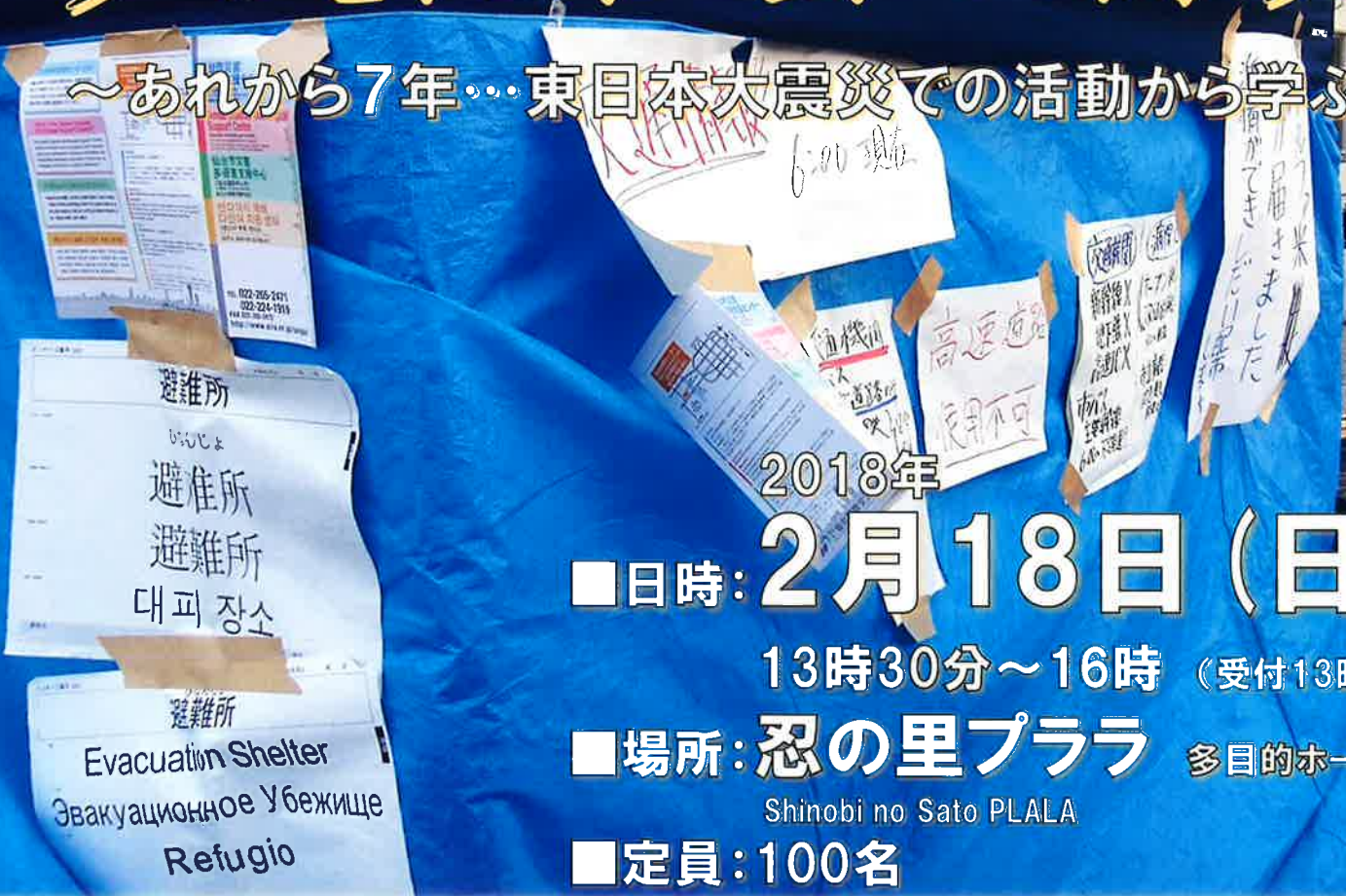


多文化社会と防災

～あれから7年…東日本大震災での活動から学ぶ～



2018年
■日時: 2月18日(日)

13時30分～16時 (受付13時～)

■場所: 忍の里プララ 多目的ホール
Shinobi no Sato PLALA

■定員: 100名

■テーマ: 災害時における外国人市民の支援と協働

■講師: 公益財団法人 仙台観光国際協会 国際化事業部

国際化推進課長 須藤 伸子氏 ※プロフィールは裏面

Sudo Nobuko Sendai Tourism, Convention and International Association

甲賀市国際交流協会では、昨年度から甲賀市における災害時外国人支援および多言語情報の受発信に関する体制づくりを検討しています。今回のセミナーでは、冒頭に甲賀市と当協会との災害時多言語情報センター設置に関する協定の締結を行う予定です。

これを機に、災害時の外国人支援と外国人市民との協働、地域や行政、関係機関との連携について考えるとともに、平時から異なる背景を持つ人々が協働できる地域づくりや外国人市民が活躍する環境づくりをすすめる第一歩とします。

そして、今回の講師には、東日本大震災発生後、外国人の支援活動の最前線に立って活動された仙台観光国際協会の須藤伸子氏をお迎えし、当時の支援活動についてお話いただくとともに、7年経った今どのような取り組みが行われているのか、これからの災害時外国人支援と協働について何が求められるのかなど、参加者の皆さんと共有したいと思います。

2011年3月 暗がりの中で仙台市災害多言語支援センターの活動が始まった…。



■講師プロフィール 須藤 伸子(すどう のぶこ)
(公財)仙台観光国際協会 国際化事業部 国際化推進課長

大学卒業後、公立中学校で教員として4年間勤務。平成3年に(財)仙台国際交流協会へ転職。多文化共生の地域づくりを柱に、事業企画や相談業務などに従事。平成19年の新潟県中越沖地震では、柏崎市多言語支援センターにて3日間活動。その経験から、仙台市と多言語支援センターの仕組みづくりについて話し合いを始めた。東日本大震災では協会職員や市民ボランティア、関係機関からの応援を得て外国人被災者の支援活動を行った。平成27年4月に、(公財)仙台国際交流協会が(公財)仙台観光コンベンション協会と統合し、現職となる。



2017年3月 甲賀市と甲賀市国際交流協会で行った(仮称)甲賀市災害時多言語支援センター設置訓練の様子



災害時だけでなく、日頃から外国人市民が積極的に地域の防災訓練・学習に参加できるような、環境づくりや地域で顔のみえる関係を築いておくことが大切。「誰一人置き去りにしない社会」を目指して…



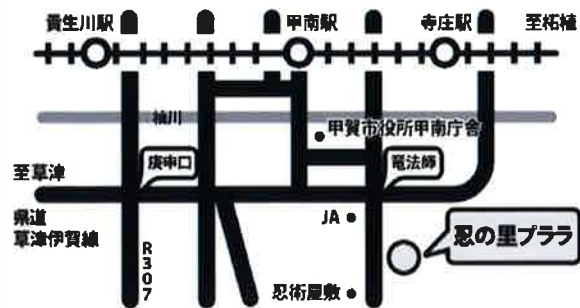
2017年11月「命をまもるための日本語」…日本語教室でのAED講習と防災教室の様子

◆災害時多言語支援センターとは◆ 災害時多言語支援センターは、発災時、支援が必要な外国人住民に対して多言語(ポルトガル語やスペイン語、中国語、英語、やさしい日本語など)で情報提供し、日本人住民と同様に正確な情報を届ける「安全」と、それと共に母国語での情報を得ることで「安心」を届ける一つの手段として必要な支援ができる機能をいう。また、避難所に避難している外国人や被災した外国人が正確な情報を得られるよう、多言語による災害情報の発信や避難所巡回を行う際の支援拠点としての機能を持つ。予測される主な活動として、①行政機関等が発信する災害情報を、多言語に翻訳して外国人に届ける。②避難所を巡回して、外国人の状況を把握。ニーズを選別し、必要な情報を多言語化して外国人に届けるなどがある。

忍の里プララへのアクセス

〒520-3311滋賀県甲賀市甲南町竜法師600 Tel.0748-86-1046

- JR草津線 甲南駅下車 徒歩約20分
 - JR貴生川駅からタクシーで約10分
 - 新名神甲南ICから「甲賀流忍術屋敷」方向約5分
- ※当日は災害福祉ボランティア講座が甲南公民館にて開催されています。混雑が予想されますので、お車でお越しの方は、できるだけ乗り合わせてお越しください。



●参加申込み・問合せ：甲賀市国際交流協会事務局

〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口5676

Tel&Fax：0748-63-8728

E-mail：mifa@mx.biwa.ne.jp

